

# 名古屋 **メカニクH2実勢値<sup>34.5</sup>~<sup>35.0</sup> どころ据置き** 依然として様子見対応

(名古屋)名古屋地区の鉄スクラップ市況は、需給双方とくに目立った動きは見られないことで、引き続き様子見横ばいで、月末へ向かう公算ではとの見方である。

地区電炉間には既に今週明けから共英製鋼名古屋、東京製鉄田原の2社が炉体に入っているが、今日25日からは中部鋼鉄が夏季炉休へ入り、これが来月6日まで実施される。なお、同社は工事停電のため28日から29日にかけては荷受けも休止する予定である。

電炉筋の集中炉休から消費減にあるが、足元は多くで通常荷受けを継続していることもあり、市中玉に荷

余り感は見えてこないことである。発生は全般に芳しくないところに夏枯れ期を迎えていることで、業者間にはヤード入荷難の声が強まっており在庫も薄い。ただ、海外市況の先行き不透明感や、国内電炉の炉体集中などを要因に、月内の市況反転は難しい状況との見方が少なくなく、さらに月末環境も控えているだけに出荷への姿勢にあることだ。

これが電炉の入荷を支える形で、一部には日割予定量の確保筋も見られるが、前週明けにかけての3連休中に在庫を減らしたところも見られるため、この補充からも引合いは緩め難い状況ではと見られている。

## 自動車解体スクラップは鉄相場に動きなく様子見商状

(愛知)自動車解体スクラップは様子見横ばい。業者筋の仕切り値は、ヤード持込み足回り甲山2万5000~2万7000円どころ。シュレッダー業者の廃車ガラソフトプレス(ダスト分33%引き後)は1万2500円~1万3500円どころ。白黒エンジンは3万5000~3万7000円、白エンジンは4万5000~4万7000円どころ。ハーネスは225~235円/キ、アルミラジエター40~45円/キ、アルミホイール180~190円/キ、バッテリー80~85円/キ、

触媒(ハニカム大)7,500~8,500円/個見当。

自動車解体スクラップは静かな荷動きとなっている。本格的な夏場を迎えて解体業者筋では廃車の出回りが低調との声がかれ、夏枯れの状態。普通車の多くは中古車オークションに流出しており、解体業者の入庫に勢いは見られない。銅相場の下落でハーネスは値下がりがりしたが、足回り相場は玉不足もあってここ1カ月余り様子見で推移している。

## 23日の「第16回レアメタル資源再生技術研究会」に100人

(名古屋)レアメタル資源再生技術研究会は23日、名古屋市熱田区の名古屋市工業研究所で「第16回レアメタル資源再生技術研究会」を開き、およそ100人が参加した。

今回は、「都市鉱山開発の戦略的将来構想と循環経済、資源効率に向けたリサイクル技術」をテーマに、産業技術総合研究所大木達也主幹の「戦略的都市鉱山構築に向けた将来構想」、日本生産性本部喜多川和典氏の「資源効率性に関わるRE・CE政策の現状と今後」、早稲田大学理工学術院大和田秀二教授「資源循環のための次世代型分離技術プロセス—金属回収を中心として」、太平洋セメント石田泰之氏「セメント産業における廃棄物の資源化技術」の4講演が行われた。

この中で喜多川氏は「中国では経済成長に伴う環境問題の深刻化により、政府および民間の環境対策投資が活発化。中国企業による環境サービス事業の買収が相次いで行われている。また中国税関当局は外国からのごみ密輸に対する特別措

置として今年3月から年末まで「Blue Sky2018」を始動。広東や青島など各港で次々と廃プラ、古紙の密輸が摘発されている」と話した。また石田氏は「セメント産業は高炉スラグや汚泥、焼却灰などさまざまな廃棄物・副産物を受け入れ、資源化を行っている。当社のエコセメントシステム工場では重金属回収、ダイオキシン分解装置などの新技術を導入し、金、銀、銅、鉛、亜鉛などを回収。また低温加熱脆化技術を活用したASR等の化石系エネルギー代替利用、リチウムイオン電池の無害化と金属回収の技術開発を進めている」と紹介した。講演会終了後は交流会が催された。



喜多川和典氏の講演模様

トータルリサイクル  
ISO14001 認証取得  
YAMASYO GROUP

**ヤマショー金属株式会社**

代表取締役 山本 茂

本社 愛知県小牧市大字三ッ湖西池田195-1  
工場 TEL(0568)73-4028 FAX(0568)75-4535  
弥富 愛知県弥富市楠1丁目8番  
工場 TEL(0567)68-6116 FAX(0567)68-6117  
リサイクル 愛知県小牧市大字文津字神子300番  
小牧工場 TEL(0568)74-2811 FAX(0568)74-2800